

流山児★事務所公演

宮本研 連続上演第1弾

辛亥革命110年・宮崎滔天没後100年

夢・桃中軒牛右衛門の



2022年

8月10日水~17日水 下北沢 小劇場B1

作:宮本研 脚色:詩森ろば 音楽:朝比奈尚行 演出:流山児祥

流山児★事務所公演

宮本研 連続上演第2弾

関東大震災99年・大逆事件死刑執行111年

美しきものの伝説



2022年

10月5日水~12日水 下北沢 小劇場B1

作:宮本研 音楽:諏訪創 演出:西沢栄治 芸術監督:流山児祥

2022年
8月10日(水)～17日(水) 下北沢 小劇場B1
作…宮本研 脚色…詩森ろば 音楽…朝比奈尚行 演出…流山児祥

夢・桃中軒牛右衛門の

流山児★事務所公演

宮本研連続上演第1弾 辛亥革命110年・宮崎滔天没後100年

●あらすじ
百年前、アジアが大きく揺れ動いていた。眠れる獅子の中国は清朝末期、革命が芽生えていた。日本では熊本の地に、新しい時代の訪れを待ち望む男がいた。宮崎兄弟の末弟、宮崎滔天である。自由民権運動の志士である兄たちの影響を受けた滔天は、兄の遺志を革命に身を投じた中国の人々に重ね合わせ、惜しめない愛と支援を送り、孫文と仲間たちに出会い、生涯に渡る固い信頼と友情の絆を結ぶ。民族の独立と平和、民衆のための新しい国家の建設。しかし、天下国家を論じアジアを駆け巡っていた滔天はある日突然、浪曲師・桃中軒雲右衛門の門を叩く。彼の心に何が起こり、何をしようとしたのか？

日本アカデミー賞脚本賞受賞の劇作家・詩森ろばが「現在の視点」で大胆にアダプテーション、百年前、日本と中国の自由と民権を求める人々の交流を、おんなたちの視点で描いた友情と冒険の物語。

●出演



桃中軒牛右衛門
(宮崎滔天)
シライケイタ
(劇団温泉ドラゴン)



榎 (その妻)
山崎薫



波 (榎の姉)
伊藤弘子



孫文
さとうこうじ



黄興
甲津拓平



宋教仁
木暮拓矢



秋瑾
春はるか



士官学校
眞藤ヒロシ



留学生
鈴木麻理



師範学校の学生
(毛沢東)
三上陽永
(ほこぼクラブ)



桃中軒雲右衛門
井村タカオ



浜 (その妻)
石本径代



馬右衛門
星郁也



猫右衛門
本間隆斗



北輝次郎
(北一輝)
霍本晋規
(劇団三日月演)



北村高等刑事
杉木隆幸

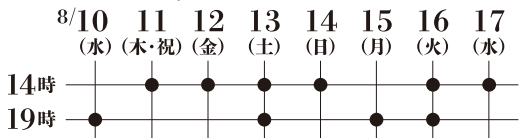


警察署長
流山児祥

尊敬する宮本研さんの脚色をいきなり頼まれました。今よりずっと世界の民主化運動や革命、そして戦争などが近い時代の作品で、その知識と理解するためのインテリジェンスがあること前提の、比喩や暗喩に満ちた作品たちの上演は、なかなか難しいと前々から思っていました。とは言え、わたしのような三流劇作家に筆を入れろなどといくらなんでも大胆すぎるというものです。さすが流山児祥。でもおこがましさに耐えて引き受けたのは、そ

んな理由で理解されないのは悔しすぎる。今、ほんとうに上演すべき作品だと思ったからです。そして自分は、宮本研さんが生涯かけて言わんとしたことがわかる女だという少々のウヌボレがあったからです。左翼的思想は持ちつつも、そのロマンチズムに屈しなかった稀代の劇作家宮本研さんの真骨頂を、現代の物語として再生したいと臨みました。どうぞ劇場で、批判精神を山ほど持ってご覧ください。すべて受けて立ちます。(脚色:詩森ろば)

●日程 2022年8月10日(水)～17日(水)



受付は開演の40分前より 開場は開演の20分前より
アフタートークあり 詳細はWEBにて発表

●スタッフ

作:宮本研 脚色:詩森ろば(serial number) 音楽:朝比奈尚行(時々自動) 演出:流山児祥 振付:神在ひろみ
浪曲指導:東家孝太郎 方言指導:霍本晋規 演出補:三上陽永 殺陣:上田和弘 舞台美術:V・銀太(グローシャ)
照明:奥田賢太(株式会社コロレ) 映像:浦島啓(株式会社コロレ) 音響:島猛(株式会社ステージオフィス)
衣裳:竹内陽子 舞台監督:岡島哲也(合同会社ヨルノハテ) 演出助手:畠部七歩 + 橋口佳奈
宣伝美術:ヨコヤマ茂夫 + 江利山浩二(KINGS ROAD) 制作:米山恭子

●協力

宮本新 株式会社A4 有限会社ジェイ・クリップ
株式会社オフィスPSC 株式会社エクサプロブスプロモーション
株式会社サードステージ(順不同)

●主催

一般社団法人流山児カンパニー

●助成

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

流山児★事務所公演

宮本研連続上演第2弾 関東大震災99年・大逆事件死刑執行111年

美しきものの伝説

2022年
10月5日(水)～12日(水) 下北沢 小劇場B1

作…宮本研 音楽…諏訪創 演出…西沢栄治 芸術監督…流山児祥

●あらすじ

明治43年、大逆事件が起こり、社会主義運動は「冬の時代」に入った。物語は大正元年、女優志望の伊藤野枝が大逆事件の残党・堺利彦の売文社を訪ね、大杉栄や平塚らいてうと出会う場面から始まる。演劇界では、小山内薫、沢田正二郎らが島村抱月、中山晋平らと「芸術と興行の二元論」「自然の演技こそ真実」など議論を重ねていた。また、自由恋愛を提唱する大杉栄は、新聞記者の神近市子、野枝と恋愛関係になる。野枝は、夫の辻潤との子供を身籠りながら大杉と生きる決意をする。それぞれに自らの理想のために奔走する彼らだが、やがて厳しい現実が目の前に現われる。

注目の演出家・西沢栄治が若手キャストと共に挑む、演劇と社会運動が劇的に交錯する青春群像劇！

この戯曲はあまりにも「名作」になりすぎていないだろうか。そりゃたしかに面白い台詞もカッコイイ。憧れの作品だ。けれどそんな風に有り難がっていてもしょうがない。登場人物たちは今でこそ歴史上の偉人だが、劇中では理想と現実のギャップに悩むただの若者だ。憤る気持ちやダメさ具合は現代の私たちと何ら変わらない。そのどうしようもない青春の熱量で、アナーキーな芝居をつくってみようと思う。それこそが流山児★事務所で上演する意味ってもんだらう。のるかそるか。御期待ください。(演出:西沢栄治)

芸 術 座



松井須磨子
竹本優希



先生
(島村抱月)
里美和彦



ルバシカ
(小山内薫)
鈴木幸二



早稲田
(沢田正二郎)
佐野バビ市
(劇団東京ミルクホール)



本間隆斗



十河克史

●スタッフ

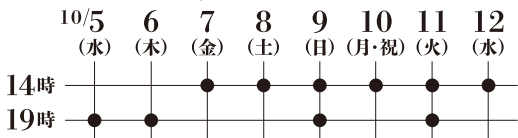
作:宮本研 演出:西沢栄治 音楽:諏訪創 振付:神在ひろみ 舞台美術:小林岳郎 照明:横原由祐
映像:浜嶋裕裕 音響:島猛(株式会社ステージオフィス) 衣裳:竹内陽子 舞台監督:森下紀彦
演出助手:杉浦一輝(ほこぼクラブ) 宣伝美術:ヨコヤマ茂夫 + 江利山浩二(KINGS ROAD)
制作:米山恭子 + 竹本優希 芸術監督:流山児祥

●協力

宮本新 株式会社ヒラタオフィス(順不同) 一般社団法人流山児カンパニー

●主催

●日程 2022年10月5日(水)～12日(水)



受付は開演の40分前より 開場は開演の20分前より
アフタートークあり 詳細はWEBにて発表

「美しきものの伝説」
出演者募集

募集人員:アンサンブル若干名
応募資格:18歳以上

以下の稽古～公演に参加できる方
公演▶10/5(水)～10/12(水)
稽古▶9/5(月)～18(日) 18:00～22:00
9/19(月)～10/2(日) 13:00～22:00
10/3(月)、4(火) 9:00～22:00

オーディション▶7/9(土)、10(日)
10:00～17:00

応募締切:6/24(金)
応募方法は、WEBをご覧ください、
流山児★事務所にお問い合わせください。

劇団員募集!!

劇団で活動することに興味がある
人を募集します。詳細は流山児★
事務所までお問い合わせください。

《命、革める》
若者たちの「自由と友情」の
歴史劇★連続上演



そんな、僕は半世紀を経て、研さんに《出会い》直した。2017年『メカニズム作戦』上演。この1962年(状況劇場結

成)、若者たちの70年安保闘争に向けた社会変革のステップボードの作品を朝比奈尚行:音楽で上演。運動不在の2017年、若者たちの「渾沌とした自由への渴望」は伝わり大ヒット。研さん戯曲の「勁さ」を実感した。辛亥革命110年・宮崎滔天没後100年、関東大震災99年・大逆事件死刑執行111年の2022年、研さんの「百年前のアナーキーな若者たちの冒険劇」を連続上演する。故郷の革命家:宮崎滔天と中国の革命家の交流を描く『夢・桃中軒牛右衛門の』、大正の社会運動家と演劇人との熱い交流を描く『美しきものの伝説』である。『夢・桃中軒牛右衛門の』は、宮本研リスペクトに裏打ちされた大胆不敵な詩森ろば:脚色の問題作。『美しきものの伝説』は、イマ、注目の西沢栄治の演出。《命、革める》若者たちの「自由と友情」の歴史劇★連続上演です。「戦争の時代」にあらためて、「自由と民権」を真っ向からボクたちは演劇の力を信じて問いたいと思っています。ふらりと、下北沢までおいで下さい!(芸術監督:流山児祥)

●プロフィール
宮本研

1926-1988 熊本県生まれ。十代の七年間を父親の勤務地北京で過ごし、1944年に帰国。九州大学経済学部卒業後、大分県立第二高校(現・大分商業高校)で一年間教鞭をとった後、1952年より法務省に勤務。1955年法務省在職中に「麦の会」を結成し、『僕らが歌をうたう時』を執筆。労働者自身による自立劇団再建の担い手となる。1962年、法務省退職、職業劇作家となる。舞台だけでなく、ドラマや映画の脚本も手掛ける。『日本人民共和国』、『メカニズム作戦』で岸田戯曲賞、『明治の樞』で芸術祭奨励賞脚本賞。『反応工程』、『日本人民共和国』、『メカニズム作戦』、『ザ・パイロット』は《戦後史四部作》と呼ばれ、『明治の樞』、『美しきものの伝説』、『阿Q外伝』、『聖グレゴリーの殉教』は《革命伝説四部作》と呼ばれている。『美しきものの伝説』は21世紀のイマも多くの劇団によって繰り返し上演されている。